

令和8年4月1日
東京都立東久留米特別支援学校長
菊地 直樹

令和8年度 東京都立東久留米特別支援学校 学校経営計画

10周年令和13年(2031年)に向けて始動

本校は、東京都教育ビジョン(第5次)の東京の目指す教育「誰一人取り残さず、全ての子供が将来への希望を持って自ら伸び、育つ教育」の具現化を図る。

目指す学校を「くらす力 働く力 関わる力を育てる学校」とし、そのために、教職員の専門性を高め、地域や社会の人的・物的資源を活用し、一人一人に応じた適切な指導・支援の充実を図る。将来とつながる学びの実感と、発達段階等に応じた課題設定及び適切な支援を追求し、学校でも社会においても生徒が自分らしさを発揮できることを目指す。

I 教育目標

- 1 青年期にふさわしい健康な体と豊かな心を育み、心身の健全な発達を図る。
- 2 基本的な生活習慣を確立するとともに、自ら考え主体的に行動する力を育てる。
- 3 社会生活に必要な基礎的な学力を身に付け、思いやりの心と規範意識をもった人間を育成する。
- 4 他者との関わりを通じて、社会性や協調性、表現力を育み、社会の中で豊かに生活するための力を伸ばす。
- 5 社会の一員として、働くために必要な知識や技能、考える力、態度を育てる。

II 校訓 <学校コンセプト>

知 仁 勇

学び続ける人に (学び続ける知者であれ)

思いやる人に (心を思う仁者であれ)

行動する人に (果敢に挑む勇者であれ)

III 目指す学校像

くらす力 働く力 関わる力を育てる学校

IV 中期目標と方策 ～生徒が自分らしく輝くために～

1 人権を尊重し自分らしさを発揮できる教育の充実

- (1) 生徒一人一人が、自己肯定感や自己有用感を実感し、互いを尊重し、認め合う態度や心の育成

- (2) 発達支持的生徒指導を実施し、自己指導能力の育成
- 2 専門性に基づく生徒一人一人の発達段階に応じた指導と個性の伸長**
 - (1) 生徒の障害の状態等を的確に把握し、一人一人の課題に応じた自立活動の充実
 - (2) 個別指導計画の3観点評価実施によるカリキュラム・マネジメントの実施
- 3 将来の自立と社会参加のつながりを意識して学ぶキャリア教育の充実**
 - (1) 進路体験情報の「意味づけ」「重みづけ」「価値づけ」を記録し、体験と授業及び進路担当と担任と授業担当をつなぐキャリアパスポートの活用
 - (2) 知識・技能を活用して、状況を把握し調整し、継続的に働く「働く態度」の育成
- 4 保護者や地域と連携する学校 特別支援教育の推進**
 - (1) 近隣高等学校との交流、協働活動の推進
 - (2) 地域の教育委員会や学校、福祉機関との連携、情報交換や巡回相談等の充実
- 5 安全・安心な学校**
 - (1) 施設・設備が整い、整理・整頓・清潔が行き届いている学校
 - (2) メンタルヘルスケアの充実及び自殺対策に資する教育の実施
- 6 組織的運営と働き方改革**
 - (1) 服務事故の根絶
 - (2) 「学校における働き方改革の推進に向けた実行プログラム（令和6年3月策定）に基づく働き方改革の推進

V 今年度の重点目標と方策（数値等目標）

1 学校運営

	重点項目と方策	具体的方策・数値等目標
1 学 校 運 営	① 生徒の人権に配慮した指導の充実・人権感覚の醸成	(ア) 人権研修3回・いじめ調査2回・体罰調査2回 実施
	② コンプライアンスの遵守の徹底	(ア) 研修実施2回以上 (イ) 個人情報管理・授受簿確認点検6回以上 →結果 服務事故なし
	③ 校務分掌業務等の教職員の役割の明確化及び主幹教諭・主任教諭による進行管理による確実な実行（人材育成）	(ア) 主幹：進行管理4回（4・7・10・12月） (イ) 主任：マニュアル活用・改善 (ウ) 個人：スケジューリング →結果 遅延なし・未実施なし
	④ C4th、ICT 機器、TAIMS 端末の適正な活用と効率化	(ア) 情報集積・活用・管理システム構築 (イ) ICT 活用研修実施
	⑤ ライフワークバランスの実現に向けた組織的な推進	(ア) 時間外勤務45時間以上10%以下 (イ) 男性育児休暇希望者取得100%

2 学習指導

	重点項目と方策	具体的方策・数値等目標
2 学 習 指 導	① 個々の生徒の的確な実態把握と課題設定、適切な指導の手立ての設定	(ア) アセスメント実施と活用：1年生 100% (イ) アセスメント研修実施 →結果 個別指導計画保護者満足度 85%以上
	② 作業学習、職業に関する専門教科での働く態度育成	(ア) 態度チェック項目と実際の指導との一致 (イ) 外部販売・活動等 130回
	③ 年間指導計画・シラバスのカリキュラム・マネジメント	(ア) 学習指導要領の指導内容とシラバス・年間指導計画との整合と改善 (イ) 授業・教材フォルダの充実
	④ 年間一人 1回以上公開授業	(ア) 公開授業 MT 担当教員全員実施 ・教科（授業フォルダに無い単元を実施保存） ・働く態度育成授業 ・一人 1台端末利活用 ・グローバル化対応：外国語、世界を知る学習 ・主権者消費者教育 ・東京都統一体力テスト
	⑤ 図書環境の整備	(ア) 蔵書の充実 利用者数増

3 生活指導

	重点項目と方策	具体的方策・数値等目標
3 生 活 指 導	① 生徒の相談を聞き取り、安心して過ごせる学校づくりの推進 自殺やトラブル等未然防止対策の徹底	(ア) 両科 1年生スクールカウンセラー活用 (イ) 必要な生徒の心理士活用・支援会議実施 100% 実施数/必要対象生徒 →結果 重大事故なし
	② 生徒の変化を早期発見、組織的対応、健全育成の実施。 SNSによる事故の防止。	(ア) いじめアンケート実施 全生徒 (イ) SOS の出し方等セーフティ教室実施 (ウ) 必要な生徒の支援会議実施 100% (エ) SNS の保護者連携協力発信 3回以上
	③ 地域と連携した危機管理マニュアルに基づく災害や防犯等 様々な危機管理体制の整備	(ア) 避難訓練実施 11回 (イ) 総合防災訓練実施 1回 (ウ) 防災推進委員会実施 2回 →結果 マニュアルの更新・充実
	④ 食物アレルギー事故なし	(ア) 食物アレルギー研修 2回及び校外学習前
	⑤ 医療的ケアが必要な生徒に対し安全で適切な支援実施	(ア) 医ケア委員会 4回 (イ) 指導医検診 2回 (ウ) 対応訓練 2回

4 進路指導

	重点項目と方策	具体的方策・数値等目標
4 進 路 指 導	① 進路選択・進路決定までの3年間の進路指導ガイダンス充実	(ア)異動教員向け1回 保護者向け2回以上 →結果学校評価理解・満足度80%以上
	② 進路行事後の意味づけ、価値づけ、重みづけの記録の蓄積と進路選択時の活用	(ア)進路個人ファイル(キャリアパスポート)の活用100% →結果 希望進路実現100%
	③ 社会参加とのつながりを生徒自身が意識し学ぶ指導の実践	(ア)2,3年企業希望者が、進路個人ファイルを活用し、作業担当、専門教科担当に実習先及び強みと課題を伝達

5 特別活動

	重点項目と方策	具体的方策・数値等目標
5 特 別 活 動	① 学校行事等での生徒の主体的な活動の推進	(ア)行事のクラス・学年目標の達成85%以上のクラス
	② 地域の高等学校との授業や部活動等の交流を活性化	(ア)都立久留米西高等学校等との交流実施18回以上 交流計画のパッケージ化 (イ)交流校生徒の感想・意見集約と分析実施
	③ 生徒会活動を活性化	(ア)昼休み生徒会企画の活動実施 3種以上
	④ 部活動を通して個性の伸長、仲間意識、協力する力の育成	(ア)各部活動で対外試合/演奏会/展示会等の実施

6 開かれた学校 その他

	重点項目と方策	具体的方策・数値等目標
6 開 か れ た 学 校	① 通学区域の小・中・高等学校、特別支援学校との連携強化、	(ア)特別支援教育コーディネーターのセンター的機能の発揮(年間50回以上) (イ)久留米西高等学校や久留米中学校区の連絡協議会等への参加4回以上 (ウ)上級学校訪問10回以上
	② 特別支援教育の理解啓発	(ア)学校公開、授業参観等来校者 各100名以上
	③ 地域の福祉課や家庭支援センター等の関係機関と連携強化	(ア)コーディネーターや進路指導部と関係機関との情報交換・機関連携 12回以上

④ 学校生活支援シートの活用による関係機関と連携した支援体制の構築	(ア) 引継ぎ実施：出身校全校 (イ) 支援連携支援会議：必要生徒 100% (ウ) 移行支援連携：高3 全員
⑤ 職能開発科説明会の充実および地域中学校等への理解推進	(ア) 学科説明会年間参加者 700 名以上 (イ) 入学者選考倍率 2 倍以上 (ウ) 中学校等訪問 5 校以上
⑥ 学校Webサイトの更新や様々な広報ツールを活用し、積極的な情報発信	(ア) Webサイトの更新 年間 160 回以上